

令和3年度高知県児童福祉審議会ひとり親家庭部会 議事録（概要）

1 日 時 令和3年11月12日（金）14時00分から15時30分

2 場 所：高知城ホール 2階会議室

3 出席者

委員等 徳弘委員（部会長）、岡谷委員（副部会長）、國澤委員、野村委員、森田委員、
新谷委員、山崎委員、公文所長（ひとり親家庭等就業・自立支援センター）

事務局 西村子ども・福祉政策部副部長、泉子ども・子育て支援課長、有岡課長補佐
子ども・子育て支援課 大崎チーフ、谷主幹、重森主事
人権・男女共同参画課 有澤課長補佐兼女性の活躍推進室長、
生涯学習課 林チーフ、幼保支援課 宗石課長補佐

4 議 事

（1）ひとり親家庭等実態調査について

（2）第三次高知県ひとり親家庭等自立促進計画における取組実績等について

（3）第四次高知県ひとり親家庭等自立促進計画について

議事について、事務局から説明した後、質疑応答を行った。

5 質疑応答等内容

【議事（1）ひとり親家庭等実態調査について】

（委員等）

資料1の2ページ目の子どもの数で、父子家庭の方で「3人」が増える。前回8.7%だったのが14.1%とか。27年度と令和3年度でそんなに変わっていないが、割合がどうして増えたのかなと思った。

それと意外と制度や機関を知ったきっかけというのがインターネットが増えてはいるけども思ったほど多くない。やっぱり旧態然としたと言うか、県や市町村役場とかそういった媒体が結構高い。こんな時代だからインターネットの方がぐんと増えてるかなと思ったが、それほどでもないという感想。

（事務局）

ご指摘のとおり、実はもう少し上がってるかと思ったが意外とこれぐらいなのかなと思った。福祉のしおりやパンフレットについては、ひとり親になられた段階で役所の手続きに行く時に個々に対象者の方にお渡しをするといった点で、まず最初に得られる情報の窓口ということで一定有効と評価をしたところである。

【議事（２）第三次高知県ひとり親家庭等自立促進計画における取組実績等について】

（委員等）

なかなか目標が高いので厳しいが、何とかそれに向けて努力をするということが大事かと思うがどうか。

ファミリー・サポート・センターは、最初どうなるだろうと思っていたが、増えたと感じる。子育て支援の部分では、結構目標を達成している。子どもを育てる環境づくりというところは達成できているが、親御さんの就職に関する部分はなかなか、これを見る限りでは厳しいなど。訓練を受けてちょっとでも上を望むというのが本当は良いのだろうが、日々の生活に追われてなかなかそこまでいかないのが実情かなというふうにも感じた。

子ども食堂に関して、自分が関わっているもので興味があったが、今、本当に一緒にご飯を食べるという状況が難しくてほとんどのところが休んでいる。やってもお弁当、パントリーと言って食材支援で取りに来てもらったり配ったり。中には子育て世帯だけでなく高齢者で孤立した人の所へ配ったりしている所もあったりする。そうした中で、高知市の場合であるが、弘化台の市場さんで流通に乗らないお野菜をいただいたり、食支援ネットが立ち上がった関係で、冷凍食品とかいただけるようになって、子ども食堂そのものは結構やりやすくなっている部分はあると思う。それが本当に必要とされているご家庭が利用できるかどうか、その問題がずっと自分たち関わっている者の中でも出てきている状況。

（委員等）

就業支援の中の移動相談は、25回の目標に対して実績が非常に少ない。前回、この部会の中で、令和3年で今回の計画が一旦終わって、令和4年から同じような内容で引き続きやるというような話になっていたと思うが、移動相談のところは費用対効果からして必要ないんじゃないかと思う。ここだけでもカットして構わないのではないか。

（事務局）

前回、次の改定計画についても基本的に踏襲ということでご説明したところであるが、先ほど来、お話しいただいているように、特に目標値に関しては、やはり5年の計画の中で、これから実態調査の結果も見えていかないとはいけませんが、ニーズやひとり親家庭の実情が少し変わってきているものを捉えて目標を立てる必要があると思っている。ご指摘のように移動相談については、これからWEBアプリのようなものも入ってくると、まず、ニーズの面で把握して効率的にやっていくということが大事になってくると思うので、次回の部会でももう少し次の計画の施策であったり全体の目標であったりということをお諮りしたいと思う。その際にはいただいたご意見を踏まえて、見直しをできるものは見直しをしていくということで、またお諮りをしたい。

【議事（３）第四次高知県ひとり親家庭等自立促進計画について】

（委員等）

令和5年まで、この基本体系に基づいて施策を継続するという事だと思うが、KPIという目標値はどうするのか。先の委員さんが言われたように、特に就業支援の強化というのは、今回のアンケートにもあるように、「知ってるけどあまり利用しない」というふうなことが分かっているものについては、使用しないと言ってるんだから目標値は下げるべきかなと思う。そのあたりはどうお

考えか。

(事務局)

目標値に関しては、高い目標を掲げるというのも一つ進めていく手立てではあるが、さりとて達成をきちんとしていく道筋を立てると言う意味で、最初から難しい目標を立てるのが進捗管理の中でいかなものなのかということ、私どもも考えるところである。いただいたご意見を十分に踏まえて、目標値についても、できれば次回の会でお諮りをさせていただきたい。

(委員等)

事務局で検討して進めていくということで構わないか。

(委員等)

ひとり親家庭等就業・自立支援センターは、異分野に参入されて、コロナもあって、大変だったんじゃないかと思うが、もうちょっとこういうことがあれば、こんな状況下でも進めていけるんじゃないかなというような所があれば。相談件数もなかなか増えないというような状況もあり、そんな中でWEBアプリを提案していただいたりしている。せっかく参入してくださり、選ばせていただいたので、我々もバックアップもしていかなければいけないんじゃないかなと思っている。意見があれば聞いておきたい。

(委員等)

就業の所で、同じソールの3階に女性のしごと応援室さんがいて、就業に関して突き抜けている団体と言うか、大人数で、外回りも何人かいらっしゃる。就業に関して特化している所が同じ施設の2階と3階にあって、僕らは今月から無料職業紹介事業の登録を取ってゼロからスタートする。ひとり親家庭等就業・自立支援センターは、残念ながら、今、特化している事業者さんの募集は一つもできていない。たまたま、「ひとり親に特化したお仕事口があると思って来た」という方もいらっしゃる。求人募集をかける段階では、ご存じのとおり男女や年齢も選ぶことができない。当然、ひとり親の方だけということもできない。ということは、差別化ができないので、どう僕たちだけのいい所をアピールしていくのか悩ましいところである。

(委員等)

ヒントもあったような気がする。ひとり親家庭でもいい就業先があれば教えてほしいと来られているってことは、そういう所の開発をしていかなきゃいけないということなのだろうか。

(委員等)

それを公にはできない。難しいところである。

(委員等)

資格を取られたということで、今からそのあたりのことができていくということか。

(委員等)

目指していきたいところであるが。

(委員等)

県の方としてもバックアップしてあげて欲しい。